



# くさか景子の



ちよっ

## よろしいですか！

と

毎月発行 県政情報紙 2010年12月 Vol 43

## 小出川 治水対策

### 遊水地は、自然環境を守れるか！？

茅ヶ崎市を流れる小出川の県整備計画は、聖天橋まで拡幅が進んでいます。今後の計画には、洪水時の治水対策として、遊水地建設計画があります。その候補地に、寒川の岡田、茅ヶ崎の芹沢、行谷、藤沢の打戻があがっており、今年度末までに決定されることになっています。特に行谷は茅ヶ崎市自然環境評価調査で「保全すべき7つのコア地域」のひとつとなっていて、他も水田地帯です。

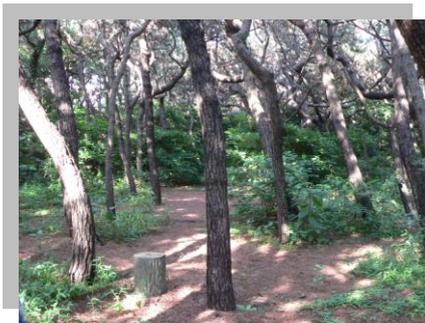


行谷の水田地帯

県が考えているのは、自然環境を壊す「掘り込み式」です。一方、川からあふれた水を水田に溜めて、自然環境を保全しながら下流の住宅地も守る「新潟方式」がありますが、県は、あくまでも、この地域では水量的に難しく、土地利用の方法として、上部利用を公園にするなど施設系での保全を提案しています。遊水地建設の担当は県土整備部で、縦割り行政の弊害、環境部は一切関わっていません。生物多様性の観点から見ると、公共工事を執り行なう際には、必ず環境部と協議するなど、環境に配慮した建設計画を立てる必要性が求められます。

## 柳島 下水処理場 取り付け道路建設

### 樹木伐採以外 方法ないのか！？



柳島海岸の保安林

柳島下水処理場から134号線への新しい道路建設が計画されています。134号線に直角に出入りするには、柳島の保安林を一部伐採しなければなりません。その代わりに植栽を施すという計画です。この事例でも、道路建設は下水道部、環境部との協議はありませんでした。後日、市環境審議会でも問題になり、工事計画は一時停止、議論となりました。この保安林は森林法で守られ、切るためには、保安林解除が必要でその手続きが必要です。植樹するから伐採も「やむをえない」？だとしたら、今後なんでも許されてし

まうのではないかという疑念が残ります。県としては、自然環境保全するためには、建設だけではなく、環境部を含めた横断的な連携と協議、また、市行政や環境団体等の市民との積極的な話し合いをもとに、計画を慎重に進めるべきと考えます。



## エコアイランド宮古島を視察！

### 環境モデル都市 宮古島の取り組み

沖縄本島から飛行機で南に 30 分、話題の尖閣諸島の近くに宮古島があります。四季を通して暖かく年平均 23.3℃、11 月でも半そでのかりゆし姿でした。

宮古島市は離島で初めて国の環境モデル都市に選ばれ、CO<sub>2</sub>削減に取り組んでいます。

2030 年までに約 30%の減を目指し、特に、鉄道のない自動車に頼る運輸部門で削減計画を実施。名産のサトウキビ製糖後の残渣を活用した「バガス発電・バイオエタノール燃料」により宮古島の化石燃料



エコタクシーの前で

依存度を軽減します。主に、タクシー、公用車に使用され、エコタクシーの表示で街中を走ります。その他、メガソーラー、風力、太陽光発電、さらに沖縄の気候風土に合う伝統的な住まい「アジア型エコハウス」省エネ型住宅の普及をしています。

全世界的に深刻な地球温暖化問題、国のCO<sub>2</sub>削減目標は、2025 年までに 25%、神奈川県も同じ目標です。宮古島では、島ならではの目標を掲げ、島全体で、新エネルギー施設の見学や自然環境と観光を合わせた「エコアイランドツアー」など果敢に取り組みを頑張っています。真剣な行動に感銘を受けました。



宮古島の自然環境豊かな海



## くさか景子のほっとコラム

### 「日本女性は家庭で・・・」発言に抗議！

警備が激しかった横浜でのAPECも無事終了したが、関連で10月1日岐阜市での「女性企業家サミット」の昼食会が開催され、そこでの中山経済産業大臣政務官の発言が問題。

「日本女性は家庭で働くことを喜びとし、文化だ」と、女性の社会的地位向上のため世界から集まった女性たちの前での発言だけに参加者は衝撃を受けた。

「女は家に、男は外に」という伝統的役割分担意識こそ、失くしていかなくてはならないのに…。国のしかるべき地位の人がいつまでもこんな考えでは、日本の男女共同参画は遅れる一方だとながかりする。私の属する全国フェミニスト議員連盟で、抗議と要請を行った。